

# 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合開発局 道路建設課

担当課長名： 田中 衛

事業名	一般県道 <small>やがじなかそね</small> 屋我地仲宗根線		事業区分	地方道	事業主体	沖縄県	
起終点	自： <small>なごしうんでんぼる</small> 名護市運天原 至： <small>なきじんそんなかそね</small> 今帰仁村仲宗根		延長		2.18 km		
事業概要	一般県道屋我地仲宗根線は、ワルミ海峡を横断し本部半島と屋我地島を結び交通不能区間を解消し、また、古宇利大橋により陸続きとなった古宇利島から行政区である今帰仁村の中心地への交通不便区間を解消することにより地域間の交流促進、産業振興に寄与する。さらに、整備中の県道110号線と連携することにより地域活性化、観光活性化を図るものである。						
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H10年度用地着手		H10年度工事着手		
全体事業費	80億円		事業進捗率	44%		供用済延長	0.97 km
計画交通量	4,500台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.9 (残事業費) 9.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 33/84億円 事業費：32/83億円 維持管理費：1.0/1.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 327/327億円 走行時間短縮便益：302/302億円 走行費用減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：4.1/4.1億円	基準年 平成18年			
事業の効果等	国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） 個性ある地域の形成（特別立法に基づく事業である）						
関係する地方公共団体等の意見	沖縄県北部市町村会から早期整備の要望が出ている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	古宇利島民は、古宇利大橋の開通に伴い定期船が廃止され、役場等がある中心地に向かうのに国道58号を経由するため、定期船より時間を要している。古宇利大橋の開通により観光客が増えている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率が100%、整備率が70%となっている。 ワルミ海峡を渡海するワルミ大橋上部工と一部改良工事が残っている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部において、単価不満や事業反対等で用地補償交渉が難航し期間を要したが、H16年度に解決している。平成22年度に工事を完了させ供用の予定である。						
施設の構造や工法の変更等	ワルミ大橋において歩道幅員を見直し、最小幅員（2m）としている。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性はあると考えられる。						
事業概要図	<p>The map illustrates the project area connecting Naha City (名護市) and Iki Island (古宇利島). Key locations include Nakajima (屋我地島), Nakazono (仲宗根), and Nakajima (今帰仁村). The project area is highlighted with a double-headed arrow and labeled '事業区間 L=2,180m'. Major roads shown include National Route 505 (国道505号), National Route 58 (国道58号), and Prefectural Route 110 (県道110号線). A legend in the bottom left corner defines the map's symbols: solid lines for '供用中' (in use), dotted lines for '事業中' (under construction), hatched areas for '再評価対象事業' (re-evaluation target project), hatched areas with 'うち供用中' for 'うち供用中' (partially in use), and circles for '調査中' (under investigation).</p>						